



校内・特別実習、現場実習が終わりました。今回は1年生の特別実習が一部復活したり、コロナ禍で見送りとなっていた現場実習先が3年ぶりに受け入れてくださったりと日常が戻ってきていると嬉しく感じました。

1年生は最初のうちは「声が出ていない」「動きができていない」と注意されることも多かったのですが、日を追うごとに声も出るようになり、また動作もきびきびとしてきました。特別実習においても挨拶の声も大きく、真剣なまなざしで積極的に質問するなど、校内実習で学んだことを生かして取り組めていました。

実習前に「校内・特別実習こそが本当の入学式」という話をしましたが、その話の通り、この2週間を経て立派な高特生になったのではないかと思います。

現場実習の方では、昨年秋の実習では職員室の欠席遅刻の連絡が多く、実習先企業に連絡を入れたことが記憶に残っていますが、今回の実習では電話がかかってくる回数は減少し、概ね平穏な中での実習となりました。これも昨年の経験が生きた「成長の証」と思っています。

大切なのは、今回の実習で学んだことをこれからの日常生活にどう生かしていくか、ということです。「実習中はできていたが日常生活では・・・」ということでは真の力とは言えません。1、2年生は当面進路関係の行事はありません。行事というものは成長のきっかけとはなりますが、真の力が養われるのは日常生活です。行事の時だけ頑張る「行事人間」では真の力はつきません。あいさつはできているか、ルールは守れているか、自分の役割をこなせているか……。こういったことができているか、「働く人間になるための四本柱」を意識しながら過ごして欲しいと思います。「何も咲かない寒い日には下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」（2000年シドニー五輪マラソン金メダリスト高橋尚子さん）

今回の実習で良かったこと、指摘された課題を整理して日常生活を大切に送って欲しいと思います。

3年生は進路相談会が終わりました。職安・支援センターの方に自分の考えを伝えることができたでしょうか。来週から順次いよいよ結合実習が始まります。しっかりと自分の進路に向き合っていきましょう。



定着訪問より

ここのところ控えていた卒業生の定着訪問を再開しています。「この状況下、行かせていただけてよろしいでしょうか」と連絡を入れます。「まだ在宅勤務との交替勤務となっており難しい」と言われた所もあり、日常が戻りつつあるとはいえ、収束にはまだまだなのだという気がしました。

「いいですよ」と言っていた所の中には9年ぶりの訪問というところもありました（間に別の職員が訪問しており、学校として9年ぶりではありません）。まだ本校が「高等養護学校」だった頃の卒業生です。職場でも中心的な存在となっておりまた「遠いところありがとうございます」と気遣いのできる立派な社会人となっていました。つい、昔話に花が咲き話も弾み、楽しいひと時となりました。

職業訓練校オープンキャンパス等について（お知らせ）

1 国立県営 兵庫障害者職業能力開発校（伊丹の訓練校）

（オープンキャンパス）

7月30日（土） 9時15分～11時30分
13時15分～15時30分 （申込締切 7/22（金））

8月 1日（日） 9時15分～11時30分
13時15分～15時30分 （申込締切 7/22（金））

2 兵庫県立高等技術専門学院（玉津の訓練校）

（オープンキャンパス）

7月23日（土） 9時00分～11時30分
13時15分～16時00分 （申込締切 7/20（水））

参加を希望される方は学級担任までお申し出ください。申込用紙をお渡しします。参加にあたりましては申し込み段階から個人参加となります。学校の引率はありません。

